



報道関係者各位

2026 年 7 月 31 日 (金)

デジタルハリウッド大学、「現実科学研究所」を開設 「現実編集」を誰もが学び実践できる技術へ 産官学連携の実験場が始動

現実科学研究所

現実**編集**できる

文部科学省認可の株式会社立の大学として、デジタルコンテンツと企画・コミュニケーションを学ぶデジタルコミュニケーション学部(4 年制大学)と、理論と実務を架橋し新たなビジネスを生み出すデジタルコンテンツ研究科(専門職大学院)を設置するデジタルハリウッド大学(DHU、所在地:東京・御茶ノ水、学長:藤井直敬)は、2026 年 7 月、学長直轄の研究機関「現実科学研究所(英語名: Reality Science Institute)」を開設しました

本研究所は、藤井直敬が提唱する「現実科学」、つまり個々人の脳によって構築される現実を科学し、豊かさをつくる学問を中核に、研究者・クリエイター・産業界・行政が一つのテーブルに集う産官学連携の実験場です。研究が生んだ知を社会に実装し、実装が新たな学びと次の研究を生む。本研究所は、この「知の循環」を駆動するための場です。

【開設の背景】

AI・XR・脳科学等のテクノロジーの急進と社会の分断により、「万人共通の正しさ」が機能を失いつつあります。本研究所はこの時代の課題に対し、「現実人は人によって違う」という事実を直視し、固定された前提や境界を意識的に組み直す技術「現実編集」を、誰もが学び実践できるようにすることを目指します。学長 藤井直敬が掲げる新ミッション「世界を満たせ: Fill the World」は、創立精神「すべてをエンタテインメントにせよ」を継承し、その領域を人間と社会の可能性へと拡張するものです。

【研究所の概要】

本研究所は、「知の循環」を研究・実装・教育・発信の四つの機能で回し、今後 10 年で「未来をつくる知のインフラ」となることを目指します。立ち上げ時より、能動的セキュリティ学(日本のサイバーセ





キュリティ研究のハブ構築)、デジタルヘルス学会のリポート(医療サービスの提供者と受容者の境界の見直し)、雨ニモマケズ高等学校(※)との高大連携(10代へのレジリエンス教育)、シンギュラボ連携(創発コミュニティと研究知の接合)の4つの旗艦プロジェクトを推進します。いずれも異なるスケールで「現実編集」を実践し、知の循環を実社会で回す試みです。

(※)設置認可申請中、2027年4月開校予定

構想の全体像・各プロジェクトの詳細は、設立趣意書をご覧ください。

現実科学研究所 設立趣意書／趣意書を [ChatGPT で読む](#)

名称	現実科学研究所(Reality Science Institute)
設立	2026年7月
設置場所	デジタルハリウッド大学内(学長直轄)
所長	藤井 直敬(デジタルハリウッド大学 学長)
主な活動	学際研究／産官学共同プロジェクトの社会実装／教育プログラム／出版・国際カンファレンス等の発信

【現実科学研究所 所長】

藤井 直敬 / デジタルハリウッド大学 学長



<プロフィール>

東北大学医学部卒、眼科医、東北大学医学部大学院にて博士課程修了、医学博士。1998年よりマサチューセッツ工科大学(MIT) Ann Graybiel 研究室にて研究員。2004年に帰国し、理化学研究所脳科学総合研究センターで副チームリーダーを経て、2008年より適応知性研究チームのチームリーダー。社会的脳機能の研究を行う。2014年に株式会社ハコスコを創業。2018年よりデジタルハリウッド大学大学院教授、2022年よりデジタルハリウッド大学学長補佐、2026年4月よりデジタルハリウッド大学第2代学長に就任。専門は「現実科学」。

【参加・お問い合わせ】

本研究所では、共同研究・プロジェクト参画をご検討いただける企業・研究機関・行政・クリエイターの皆様に広く募集しています。詳細は公式サイト(<https://reality-science.com/>)をご覧ください。サイト内の「共同研究・パートナーシップ受付」フォームよりご連絡ください。





【デジタルハリウッド大学 [DHU]】

<https://www.dhw.ac.jp>

2005 年 4 月、文部科学省認可の株式会社立の大学として東京・秋葉原に開学(現在の所在地は東京・御茶ノ水)。デジタルコミュニケーション学部(4 年制大学)とデジタルコンテンツ研究科(専門職大学院)を設置している。

2026 年 4 月、二代目学長に藤井直敬が就任。初代学長・杉山知之が示した「すべてをエンタテインメントにせよ」を拡張し、新たな教学ヴィジョンとして「世界を満たせ」を掲げる。

デジタルコミュニケーション学部では、不確実で予測不能な未来を自分らしく生き抜く力を身につける。デジタルコンテンツ(3DCG/VFX、VR/AR、ゲーム、映像、グラフィック、Web デザイン、メディアアート、プログラミング等)と企画・コミュニケーション(ビジネスプラン、マーケティング、広報 PR 等)を産業界の第一線で活躍する教員から幅広く学べる一学部一学科制を採用。さらにグローバル人材を育成するために外国語の重点的な学習プログラムを備え、留学を推進している。世界 46 개국・地域出身の学生が在籍し、御茶ノ水駅前でも多様性に富むキャンパスを運営している。

デジタルコンテンツ研究科では、超高度情報化社会においてデジタルコミュニケーションを駆使し、社会に変革を起こすリーダーを輩出すべく、創発的学術領域 [SEAD (Science/Engineering/Art/Design)] の 4 要素をバランス良く身につけ融合し、理論と実務を架橋する人材育成を行う。新規事業プランニングとプロトタイピングなど、院生のアイデアの実装およびスタートアップ支援により「令和 7 年度大学発ベンチャー調査」(経済産業省)では全国大学中 17 位、私立大学 7 位となっており、多数の起業家を輩出している。

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室: 川村

mail: press@dhw.co.jp

TEL: 03-5289-9241

デジタルハリウッド公式サイト: <https://www.dhw.co.jp/>

過去のプレスリリース: <https://www.dhw.co.jp/press-release/>

